

日本臨床細胞学会 細胞検査士会

子宮がん検診受診啓発活動  
＜子宮の日LOVE49キャンペーン＞

2021年度の報告・沖縄県

2022年2月2日

担当：那覇市医師会生活習慣病検診センター  
検査部 細胞診検査室 崎山三千代

## <子宮の日キャンペーン・街頭活動>

・新型コロナウイルス感染拡大のため、街頭活動は中止とした。

\* 以下、昨年同様に大学や専門学校の生徒を中心に配布活動を行った。

## <大学生等へ向けて活動>

- 日時:①2021年4月13日(火)、23日(金)、6月16日(水)、7月12日(月)、  
10月11日(月)12:45~13:15 5日間
- ②6月24日(木)16:30~17:00
- ③7月1日(木)、8月20日(金)15:30~16:00
- ④7月15日(木)14:00~14:30 **合計9日間**
- 場所・4施設(大学3・看護学校)
- ①琉球大学医学部保健学科 250セット
- ②那覇看護専門学校 300セット
- ③沖縄県立看護大学 200セット
- ④沖縄女子短期大学 250セット
- 配布物:啓発グッズやパンフレット **合計 1,000セット**
- ①子宮頸がんを考える市民の会作成リーフレット「2021 QUARTER LIFE」
- ②細胞検査士会よりポケットティッシュ
- ③生理用ナプキン5個(企業の花王より提供)
- ④独自に作成した啓発チラシ「沖縄県にお住まいの女性の皆さん！」
- ⑤那覇市より案内チラシ「受けようがん検診！」

- ・ 報告:①琉球大学保健学科では、先生方のご協力により各講義の前に、「活動の趣旨や子宮がん、がん検診についてご説明」させて頂いた。  
②那覇看護専門学校では、校長先生の協力で生徒の代表2名に配布物を渡した。  
③沖縄県立看護大学では、保健室(養護教諭)の先生の協力で、学校検診の結果と一緒に配布物を渡して頂いた。  
④沖縄女子短期大学では、学生課の担当課長さんのご協力で、各学年の生徒さんへ講義終了後に配布して頂いた。
- ・ 写真撮影:活動の様子を写真撮影した。(別ページ)
- ・ 参加人数(協力者):①琉球大学病院・病理検査9名(女性4名男性5名)  
②友愛医療センター 3名(女性2名男性1名)  
③那覇市医師会検診センター・細胞診検査2名(女性)  
④沖縄県立南部医療センター・検査科5名(女性) **合計のべ20名**  
\* 各施設長宛て、4月に「協力要請文」を提出した。

### <子宮頸がんから女性を守る 市民公開講座>

- ・9月に、例年どおり沖縄県立博物館・美術館にて予定していたが、主催の沖縄産婦人科医会/沖縄県産科婦人科学会は、コロナ渦のため**中止にされた。**

- \* 活動後、学会本部へ報告し(経費含む)、細胞検査士会渉外委員会担当者(三宅真司)に写真を添えて報告した。

# 琉球大学医学部保健学科 看護コース 4月13日(火)、6月16日(水)



# 琉球大学医学部保健学科 検査技術コース 7月15日(木)



# 那覇看護専門学校 6月24日(木)



# 沖縄女子短期大学 7月15日(木)



# <2022年度の計画案>

◎新型コロナウイルス感染拡大の収束状況によるが、  
困難な場合は2021年度同様に、街頭は中止し学生向けの活動のみとする。

- 活動日：街頭活動が可能であれば 4月頃 ⇒要許可申請
- 場所：サンエー那覇メインプレイス 店舗内？
- 参加人数：女性16名、男性6名程度 のべ20～30名程度
- 配布数：400セット（街頭）
  
- 4月～7月：大学等にて活動 400セット
- 市民公開講座：9月予定 200セット  
→沖縄県産婦人科医会・沖縄産科婦人科学会主催

\* 予定が決まれば、検査士への参加呼びかけや各施設長宛ての協力要請文を開催前の4月に送付をする。